

行革甲子園



Gyokaku Koshien 2026

～行革にかける魂の一球！輝け愛媛の舞台で～

全国の市区町村の創意工夫あふれる取組を発表、表彰する「行革甲子園2026」を開催します。多くのノウハウを共有し、自らの取組に活用していただくことが目標ですので、全国から一つでも多くの事例の応募をお待ちしています。

事例募集



詳細はこちら

募集期間

令和8年 5/15 金 まで

当日の内容

- 日時・場所 令和8年8月28日(金)12:30～17:30
松山市民会館中ホールを予定
 - プレゼンテーション 6団体程度による事例発表
 - 特別企画 官民共創事例の紹介 調整中
 - 審査・表彰式
- ※大会終了後、参加者(当日参加者、審査員、事例発表者等)による交流会を開催予定です。

特典

- ①発表団体の旅費を負担！
 - ②事例を幅広く周知！
〔応募事例集の作成及び取組事例のHP掲載等〕
審査を希望しない場合は事例応募だけでもOK！
 - ③グランプリには副賞！
〔前回大会では砥部焼表彰盾、優勝旗を贈呈〕
 - ④大会後には参加者交流会も！
- ※詳細は裏面をご覧ください。



問い合わせ
申込先

愛媛県 総務部 市町振興課 〒790-8570 愛媛県松山市一番町4-4-2
電話 089-912-2216(直通) FAX 089-912-2209
メール g-kousien@pref.ehime.lg.jp

題字：愛媛県立三島高等学校書道部

「行革甲子園2026」募集要項

～行革にかける魂の一球！輝け愛媛の舞台で～

募集対象事例

市区町村が取り組んだ「行政改革事例」とし、業務改善に通じるものであれば、すべて対象とします。

ここでの「行政改革事例」とは、行政運営や事業実施における「効率化事例」や「効果拡大事例」、「新しい手法の導入事例」などとし、例えば、次のような事例を募集します。

- 他の市区町村や都道府県との連携による効率化・効果拡大事例
- 公共施設等の有効活用・効果的なマネジメント事例
- 民間企業や大学等の知恵・ノウハウ・資金・パワーの有効活用事例
- AI・デジタル技術の活用による課題解決事例
- 業務効率化や働き方改革に関する事例
- 歳入増加や経費削減、組織の見直し事例
- 住民との協働や住民のネットワーク等の活用事例
- 人口減少対策や子育て支援等による地域活性化事例
- SDGsや脱炭素の達成に向けた持続可能なまちづくりに関する事例
- その他の先進的・独創的な事例

※これまでの大会に応募した事例でも、その後、取組が拡大等した場合は応募いただけます。

応募方法

- ・エントリーシート(愛媛県ホームページからダウンロード可能)に必要な事項を記入し、Eメールで応募してください。
- ・事務局にて内容確認後、記入していただいたメールアドレスに「受付完了のメール」を送信します。この時点で、申込み完了となります。
- ・1団体につき、複数の事例を応募いただいても構いません。

【提出先メールアドレス】

愛媛県 総務部 市町振興課 g-koushien@pref.ehime.lg.jp

評価のポイント

「創」「効」「種」の3拍子揃った取組の観点に加え、プレゼンテーションの内容を評価します。

創(そう) 創意工夫あふれる取組か、先進性・独創性があるか

効(こう) 費用対効果の高い取組か

種(しゅ) 他にアイデアの種を提供する取組か(他の自治体に広がる取組か)

プレゼン 取組の意図や内容がよく伝わるプレゼンであったか

審査方法

① 1次審査 (書類審査)

- ・応募された取組事例について、複数の審査員にて書類審査を行い、最終審査での発表事例(6団体程度)を選定します。
- ・選定結果は、全応募団体に事務局からご連絡します(6月末頃予定)。

② 最終審査 (プレゼンテーション審査)

- ・1次審査を通過した団体にプレゼンテーションを行っていただき、複数の審査員による審査に基づき、グランプリを決定します。
 - ・プレゼンテーションはプロジェクターを使用し発表していただきます。
 - ・最終審査参加に要する旅費については、主催者が負担します。
- (ただし、各団体2名以内とし、愛媛県の規程に基づく額等の条件があります。)

表彰

グランプリ (副賞として記念品を贈呈します。) ほか

表彰は、審査員長名で行います。(審査は複数の審査員で行い、愛媛県が審査・表彰するものではありません。)

これまでのグランプリ事例 (抜粋)

- ・福知山市廃校Re活用プロジェクト (京都府福知山市：2024)
- ・窓口一本化の保安指導で防災体制を強化 (新規財源の確保) (愛媛県松山市：2018)
- ・「書かなくていいの？」～証明書の申請をかんたん・スピーディに～ (北海道北見市：2016)

■ 全体スケジュール概要 (予定)

1	事例募集	3月2日(月)～5月15日(金)
2	1次審査 (書類審査)	5月～6月
3	1次審査通過団体決定・通知	6月末頃
4	「行革甲子園2026」の開催	8月28日(金)

※「行革甲子園2026」の開催後、応募のあった全取組事例を愛媛県ホームページに掲載し、応募団体をはじめ関係機関と広く共有いたします。

これまでの「行革甲子園」について

愛媛県では、平成24年度から隔年で「行革甲子園」を開催しています。

令和6年度に開催した「行革甲子園2024」では、35都道府県の78市区町村から98もの事例応募があり、書類審査を通過した7団体による熱のこもったプレゼンテーションが行われました。

これらの発表事例等を参考に、類似の取組が他の自治体で取り入れられるなど、優良事例の波及効果が認められています。

これまでの応募事例及び発表事例の資料等は、愛媛県ホームページに掲載しておりますので、ぜひご覧ください。



前回大会の様子



都道府県別応募事例



分野別応募事例

応募待っとるけん!

